

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 3 月 5 日 (2020.3.5)

【公開番号】特開 2018-136522 (P2018-136522A)

【公開日】平成 30 年 8 月 30 日 (2018.8.30)

【年通号数】公開・登録公報 2018-033

【出願番号】特願 2017-171270 (P2017-171270)

【国際特許分類】

G 0 3 F 7/11 (2006.01)

G 0 3 F 7/004 (2006.01)

H 0 5 K 3/28 (2006.01)

B 3 2 B 27/00 (2006.01)

B 3 2 B 27/42 (2006.01)

【F I】

G 0 3 F 7/11

G 0 3 F 7/004 5 0 1

G 0 3 F 7/004 5 1 2

H 0 5 K 3/28 F

B 3 2 B 27/00 Z

B 3 2 B 27/42

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 1 月 23 日 (2020.1.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

支持フィルムと、中間層と、感光性樹脂組成物により形成されてなる感光性フィルムと、を順次備えた感光性フィルム積層体であって、

前記中間層が、メラミンおよびメラミン化合物の少なくともいずれか 1 種と、シリコーン系樹脂とを含んでなり、

前記感光性樹脂組成物が、1 分子中に複数の環状エーテル基および環状チオエーテル基の少なくともいずれか 1 種を有する熱架橋成分を含んでなる、ことを特徴とする、感光性フィルム積層体。

【請求項 2】

前記支持フィルムの厚みが、10～150 μm である、請求項 1 に記載の感光性フィルム積層体。

【請求項 3】

前記感光性樹脂組成物が、フィラーを更に含んでなる、請求項 1 または 2 に記載の感光性フィルム積層体。

【請求項 4】

前記感光性フィルムの、前記中間層とは反対の面側に保護フィルムをさらに備えてなる、請求項 1～3 のいずれか一項に記載の感光性フィルム積層体。

【請求項 5】

請求項 1～4 のいずれか一項に記載の感光性フィルム積層体を用いて形成されたことを特徴とする、硬化物。